



考える子  
心豊かな子  
たくましい子

# 西葛西小だより

平成22年度 1月  
平成23年1月11日  
江戸川区立西葛西小学校

辛兔歳を清々しくお迎えのことでしよう  
心よりお慶び申し上げます



校長 屋部喜美子

1月7日、教職員が全員出勤して気持ちも新たに、子どもたちの力を大きく伸ばす教育活動の実践と自己の指導の力の研鑽を誓い合いました。今年、暦が冬休み延長という魅力ある並びとなり、授業開始が11日になりました。子どもたちも、いつもよりお正月気分をたくさん味わったことでしょう。学期は続いていますが、歳が改まり、子どもたちの意識はととも意欲的になっています。始業式が過ぎるとあっという間の10週間ですので、気を引き締め、子どもたちの元気さや明るさ、自ら伸びようとする逞しい力を引き出したい願いで、教職員はいっぱいです。教える側と教えられる側の双方が互いに学び合い、高め合う「子弟同行」を目標にして、教職員一丸となって進みます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

3学期の学習内容、単元の数は少ないのですが、1、2学期の学びの上に各単元が構成されています。これまで学習してきた内容や考え方など、基礎・基本の理解を基に学習を進めるので、土台がしっかり積まれていないと内容を難しく感じ、伸びに個人差が出ます。また、現学年の学習のまとめと習熟はもちろん、次の学年まで身に付けさせておきたい学力、行動力、生活力をよく理解させたい時期でもあります。子どもたちに、次の学年への見通しをもたせ、次年度をにらんだ働き掛けが必要となります。これまでに、1学期は個人の力を付けるとき、2学期は、数人のグループから学級や学年のまとまりまで、集団の力を醸成するときと位置付けて教育活動を行ってきました。3学期は、身に付けたことを徹底することが大切になります。個の力を大きく膨らませ、それが集団の中でどう生かせるか、また集団や友達から学び取るか、学級の中で学び合うことを重点に授業を展開します。

お正月の新聞の1面記事に教育問題を掲げた社、世界とのつながりを求め、日本創生の願いをシリーズ化する社がありました。求めるところは同じでした。明日の日本の活力を生むのは、「人」特に、「かかわる能力」の育成によるというものでした。ある教育実践家の意見は、「これまで子どもたちの自己表現力を鍛えてきたけれど、これからは自分の考えを相手に伝え、他の考えに耳を傾ける交流・対話の能力を付けること」と語っていました。正に、本校で実践中の、対話重視の国語の授業を発展したものでした。

3学期も家庭学習キャンペーンを実施します。これは、全国学力調査で、家庭学習の習慣が確立している児童・生徒ほど学力が高いという結果に基づき、区も力を入れている事業です。また、民間の教育アンケートによると、日本の中高生の家庭学習時間が、世界の主要国より短いという驚くべき結果が背景にあります。交流、対話は基礎・基本が身に付いていることが前提です。復習し、忘れないように定期的に見返すこと、何より1時間位は学習に集中する力と習慣をつけさせたいのです。学校は、そのきっかけを提案します。できれば自分で考えて不足を埋め、意欲的・計画的に家庭学習ができるようになってほしいと思います。

《お知らせ》小林真理子教諭が病気療養のため、2月末日まで休暇をとります。家庭科は平野アイ子先生が担当します。また、小林教諭が担当していた書写・図書の授業は担任が指導いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

## 1月行事予定

日	曜	主な行事予定
1	土	元日
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	冬季休業日終
8	土	
9	日	
10	月	成人の日
11	火	始業式
12	水	安全指導・給食始 校内書き初め大会(3・4年) 計測(1年)・読書旬間始
13	木	校内書き初め大会(5・6年) 委員会活動 計測(2年)
14	金	計測(3年)
15	土	PTA役員会運営委員会 30周年記念行事委員会
16	日	
17	月	計測(4年)
18	火	計測(5年)
19	水	計測(6年)
20	木	薬物乱用防止教室(5年) ｸﾗﾌﾞ活動(B時程7時間) ｸﾗﾌﾞ見学(3年生)
21	金	避難訓練
22	土	
23	日	
24	月	家庭学習キャンペーン始 5校時校内研究授業(1-3) 午前授業
25	火	読書旬間終
26	水	区一斉研究日 B時程午前授業
27	木	
28	金	学校公開 生活リズム向上公開講座 ウィナー-カール保護者説明会 (5・6年)
29	土	
30	日	
31	月	

## 生活リズムと朝食

西葛西小では、生活リズムの向上を目指し、様々な取り組みを行っています。『朝食アンケート』もその一つで、「1週間の朝食を表にしてみると、いつも同じ物しか食べていないことに、改めて気づいた」という感想が、保護者の皆様から多数寄せられています。忙しい朝は、どうしてもパンやご飯などの主食に偏りがちですが、それが子どもたちの成長にどのような影響があるのでしょうか。今月28日（金）の『生活リズム向上公開講座』では、そうしたことをテーマに、国立健康・栄養研究所の栄養教育プログラムリーダー、饗場直美先生に講演をお願いしています。多くの方にご参加いただき、“食育”について考えるきっかけにいただければ幸いです。

保健主任 土屋みどり

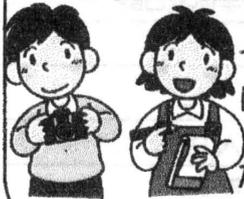


## 有意義だった生活科の「小さなたび」

「篠崎子ども未来館」「船堀タワーホール」「江戸川郷土資料室」「葛西臨海水族園」「地下鉄博物館」へ3～8人の小グループで行き、見学する活動をしました。自分たちで決めた時刻に出発します。子どもによる（計画）子どものため（交通機関の利用、未知の場所・人への関わり）の活動を安全面でサポーターの保護者の方々に支えていただきました。公共交通機関を使う経験の少ない子が多く、切符の買い方から冒険が始まります。どの施設でも、質問したり詳しく見学したりしました。帰ってきた時の子どもたちのほっと解放され、きらきら輝く表情が、その成果を語っていました。

そして、行っていない友だちに見学場所のことをまとめ、発表して紹介しました。その顔は誇らしく、一回り大きく成長して見えました。

2年学年主任 佐久間 妙子



## 算数の習熟度別学習について

平成23年度の新学習指導要領全面実施をひかえ、習得、活用、探究、言語活動を核に、確かな学びの定着、学力向上をねらい、学習指導の充実を図っています。算数の学習においては、習熟度別学習指導を担当と協働して行っています。

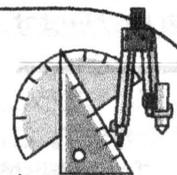
3年生は、1・2組及び3・4組から個別に指導が必要な児童を個別指導（週5時間授業のうち、2時間）しています。4年生及び6年生は、3学級を4つの習熟度別グループに、5年生は、2学級（1・2組及び3・4組）を3つの習熟度別グループに分けて学習を行っています。単元毎に、既習内容の確認や新しい内容の実態を把握するためのテストを実施し、本人や担任の意向も加味して、グループ編成をしています。

算数の学習は、基礎をしっかり身に付けないと、学習意欲がなくなり、上学年に従ってわからなくなってしまいます。また、学習の基礎・基本を身に付ける型の教科でもあり、系統的かつ反復的に学ぶことによって、理解が深まります。

習熟度別学習で、同じような力の児童と学習を進めることで、説明の方法を実態に合わせることができ、質問したり意見を言う機会が増えたりして、学習内容がわかるようになったという感想が子どもたちから聞かれました。また、習熟を図る手立てとして、小テストや練習プリントに加え、パソコンを使った練習問題にもチャレンジしました。そのため、学習に対する『やる気』が増した児童も多くなりました。

冬休みには、まだ基礎的な計算力が十分でない児童の家庭に、百マス計算やわり算の計算プリントを配りました。少しずつですが、百マス計算のタイムや正答率が上がり、計算への自信がついた児童も増えました。これからも、児童が「わかった」「できた」「楽しい」と実感できるような授業展開及び教材の工夫を行ってまいります。

算数習熟度別学習担当（4～6年）山根 博（3年）柴田 重子



## 「子育て教育相談日」

1 / 14 (金) 日午前

申込方法 電話にて (3686-7640 : 副校長まで)

21日(金)午後

28(金)日午前